定時制懇談会で…

知りたいこと 聞きたいことを

かい出ください　おだくさい　ぜひ聞かせてください

定時制を存続させたい、学びたい

——アンケート調査から高い関心——

年ねん新津高校定時制課程への入学者が減って、働きながら学べる〝高校〟としての将来が心配されています。

全日制高校への進学率（九五％―九六％）の上昇や社会情勢の変化などによるものですが、県内でも計画的な募集停止、学級減とか統合が進められており、せっかくの定時制の灯が消されそうな情勢にあるからです。

働きながら高校を卒業した い人、教養を高めたい人たちにとって、市内にある高校定時制課程は、かけがえのない学習の場なのです。

ちょっと次をみてください。「定時制高校を存続させたい」七五・四％、これからでも入学が許されたら定時制課程で「勉強してみたい」「事情が許せば勉強したい」六七・一％――これは、先ごろ市民のみなさんが定時制教育について、どんな受け止め方をしているんだろうかと、小・中学生を持つご父兄各位から協力をねがって、市・教委・新津高校定時制課程中心校振興会が行ったアンケート結果です。

こうした市民のみなさんからの意識をふまえた学校側では、早速、勉強したいと望んでいる多くの人たちの要望を実現させるための懇談会を次の日程で計画しています。

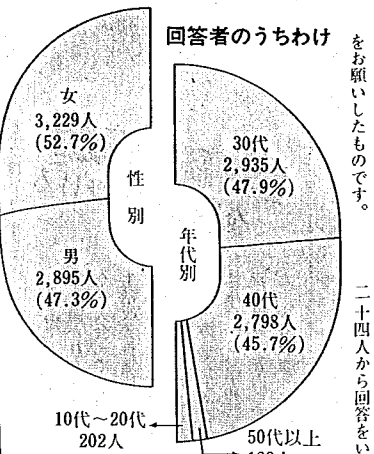
入学試験などもそれほど気にしないでほしい、勉強する気のある人は大丈夫入学は可能、とのことですから、懇談会当日はぜひ時間をつくっておでかけになってみませんか。

□とき…十月三十日（月）午後二時からと七時からの二回

□ところ…図書館（日宝町）二階研修室（和室）

なお、この日に都合のつかない人には、電話やはがきで連絡を受け次第、いつでも資料をお送りするほか、ご相談に応じるとのことですから、遠慮なしに連絡をおとりください。

連絡先は新津高校定時制課程事務局（秋葉一一）で電話は二一一九二〇番です。



定時制高校などについてのアンケートは、九月の初め、小・中学生のお子さんを通じてご父足のみなさんから回答をお願いしたものです。

調査結果からは、八千三百二十枚（小学校五千五百九十八、中学校二千七百二十二）の標本を配布のうち、六千百二十四人から回答をいただき、回収率は七三・六％ありました。くわしいデーターによる分析は、おって重点的に取り上げご紹介することとして、今回はおおまかな回答比率を中心にご紹介してみます。

問一　あなたは、定時制の存続についてどうお考えですか。

①廃止もやむを得ない　二二・七％
②存続させたい　七五・四％
③その他　一・九％

「存続させたい」は二十代に多く「廃止も…」は五十代に比較的強くあらわれました。

問二　働きながら高校を卒業できる制度の中であなた自身が勉強したり、またお子さんに入学を勧めるとすれば、次のどの制度をお選びですか。

①定時制　七四・九％
②通信制　二〇・九％
③その他　四・二％

「定時制」の約七五％の条件は、やはり地元にあることかも知れません。二十代の八割以上の人が「定時制」を選んでいました。

問三　あなたはこれからでも入学が許されたら勉強したいと思いますか。

①ぜひ勉強してみたい　一一・一％
②事情がゆるせば勉強したい　五六・〇％
③その必要はない　三二・九％

「ぜひ勉強してみたい」は回答者にして六百六十五人です。「事情がゆるせば…」を含めた約七割方の人に〝勉強〟したい意欲がうかがわれます。③の「その必要はない」は、全日制高校への高い進学率も見逃せないことでしょう。

問四　あなたは、今までに「勉強したいが定時制入学にふみきれなかった」ということがありますか。

①ある　三〇・一％
②ない　六九・九％

①の「ある」と答えた人に伺いました。

問四―一　それは、次のどんな理由からでしょう。

①年齢に制限があると思っていた　六・四％
②仕事や家庭と両立できなくて　五八・七％
③入学試験があるから　四・五％
④学力の面で自信がなくて　一三・一％
⑤毎日夜がつぶれるのがきつくて　六・一％
⑥年齢や世間体を考えるとおっくうだった　五・八％
⑦その他　五・三％

半数以上の人が「仕事や家庭と両立できなくて」が理由です。また「学力の面で自信がなくて」も以外と多くありました。

問四―二　あなたは、これから定時制に入学できて勉強を続けるとすれば、次のうちのどんな動機からといえますか。

①高校卒の資格をとりたいから　二四・九％
②教養を高めたいから　四四・六％
③好きな科目だけを勉強したいから　二六・六％
④その他　三・九％

問の三で「ぜひ勉強してみたい」人が六百六十五人おりましたが、この人たちだけをひろってこの設問の①～④の回答をみてみました。

①高卒の資格……一九六人
②教養を……二六三人
③好きな科目……八五人
④その他……二一人

問五　かりに「入学試験がなかったら」など、定時制制度の改善ができるなら、次のどんなことをあなたは望みますか。

①夜間の登校日を週二～四日くらいにして、あとは通信教育で卒業できるようにする　二四・二％
②入学試験をなくする　一二・五％
③高校卒業の資格は必要ないが、特定の科目だけ受講できるようにする　一四・七％
④授業がもっと身近な場所（例えば街の中心部）で受けられるようにする　一六・二％
⑤専門の職業学科（工業・商業など）が設けられるようにする　三〇・一％
⑥その他　二・二％

身近な場所にある定時制高校に魅力を感じています。この設問からは、いろいろな改善要望がうかがわれます。

新津の昔ばなし (18)

米袋と粟袋

水沢謙一

トントン昔があったげろ。

米袋と粟袋という二人の女の子があった。米袋はなくなったおかかの子で、粟袋は今のおかかの子だった。秋の日に、おかかは、「お前たち、山へクリ拾いにいってこい。この袋にいっぺいにならんうちは、うちへくるな。」というて、米袋には穴のあいた袋を、粟袋にはいい袋をあつけた。

二人は、山へいってクリ拾いした。粟袋は袋いっぺいになって、うちへ帰った。

米袋と粟袋は山でクリ拾いしているうちに暗くなった。あかりの見えるうちへいったら、山のおばばがいてとめてくれた。おばばのあたまのシラミをとって、宝の小箱をもらい、袋の穴をなおしてもろた。袋にクリをいっぺ拾うてきたが、おかかに叱られた。

お祭の日がきた。おかかは、粟袋にいい着物を着せつれていった。米袋は、るすいをして米つきをしていた。米袋は、お祭へいきたくなって、何でもほしいものが出るという、宝の小箱から、かんざし、くし、着物、帯、下駄を出して、着飾っていった。そのとき、おかかと粟袋より先に、急いでうちへ帰った。粟袋が帰ってきて、「お前に、よう似た、きれいなあねさがいた」という。

それから、庄屋の若だんなが、お祭にいってた娘を、嫁にほしいというてきた。

おかかは、粟袋をという。そこへ米袋が着飾って出てきたが、きまらず、歌くらべとなった。ばんの上に皿、皿に塩をもり、その塩に松葉をさしたのを、粟袋は、「よんべな、ふった、猫のくそ、水気立って毛だった、けさこいた猫のくそ、息ホヤホヤ」とよんだ。米袋は、「ばん皿や、皿々山に、雪ふりて、雪を根として、育つ松かな」と、きれいな歌をよんで、嫁にきまった。いちごプラーンとさがった。

（解説）　シンデレラ型の「米袋と粟袋」の昔話。昭和二十八年、あのころ一之町出身のばあさんから聞いた。もとの話は、長いので短くした。山のおばば（山姥）が援助してくれる。米袋がシンデレラ、山のおばばが魔法使いのおばあさん、お祭がダンスパーティ、庄屋の若だんなが王子などにあたる。

（日本民俗学会評議員）

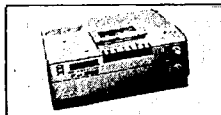
お買物、ご用命は市内で

住まいづくりの
設計から施工まで
誠意と技術で奉仕する
株式会社 木下組　☎2 4511
一級建築士事務所
善道町1－3－14
一般住宅、店舗計画設計・土木・舗装

この秋いちばんに着たい服
ワンピース&ベスト
ソフトスーツ&ジャケット
(有) きむら洋装店
新津市本町3丁目2番15号　TEL 2－1495
新潟鐙店もよろしくね！

お買物、ご用命は市内で

全国ジンベット・チェーン店
Jinpet
寝具のデパート
ふとんの姥山屋
本町3丁目　☎(代表) 2－0261


世界のビデオ・ソニー
「ベータ・マックス」
メーカーを問わず取付可能
2時間ビデオ(タイマー内蔵)
SL－8500　¥228,000
ソニーショップ
オーディオまるよし
新津市本町1丁目駅前角　電話2 1898